科目ナンバリング	U-LAS05 10006 LJ23						
授業科目名 <英訳>	自然地理学 Physical Geography			担当者所属 職名・氏名	防災研究所　教授　　松四　雄騎		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・後期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：現代の自然地理学とその応用
目　的：地球の気候・水文・地形現象の概略を学ぶとともに，それらの地球表層プロセスと自然災害や環境問題との関わりについて知る．

地球温暖化や水資源枯渇，放射性廃棄物処分といった環境問題や，地震・火山・豪雨・洪水氾濫・斜面変動に対する防災・減災といった，地球表層の物質循環と人間圏の相互作用に伴って発生する課題は，我々を取り巻く自然環境の成り立ちやその変化を駆動するシステムの総合的理解なくしては解決されない．しかし，地球科学の発展に伴って，学問領域は細分化され，個別分野の体系的教育はなされるものの，自然地理学が持つような包括的視点に立った地球表層システム科学の総合解説を得られる機会は少ない．本授業では，地球表層を構成する気圏・水圏・地圏の空間的連結性と時間発展，そしてそれらが作り出す時空間的に入れ子状となった階層構造についての俯瞰的理解を促す機会を提供し，人間圏が抱える諸問題に対する地理学的ソリューションを導くに足る知識と考察力を身に付けられるような講義を展開する．

[到達目標]

地球表層で生じる諸現象の多面的理解に基づく自然地理学的な視点から，環境問題や自然災害を含む諸課題について考察できる能力を養う．

[授業計画と内容]

この講義はフィードバックを含む全15回で行う。
以下のトピックスについて相互の関連を解説しつつ，授業を行う予定である。

序論: 自然地理学の視点とその意義（1回）
プレートテクトニクスと地盤の成り立ち（2回）
地震と火山（3回）
気候システムとその変動（3回）
陸域水循環と流域システム（1回）
海岸（1回）
河川と水災害（2回）
山地と土砂災害（2回）

[履修要件]

特になし

自然地理学(2)へ続く↓↓↓

自然地理学(2)

[成績評価の方法・観点]

成績評価は平常点（出席と参加の状況）とレポート評価による.
評点の割合は50%づつとする.
レポートの課題および提出の方法と締切は授業の中で示す.

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

この講義は，自然地理学の予備知識の有無を前提とせずに進める予定で，必要な事項は講義の中で随時解説する．しかし高校理科科目としての地学の地球科学的部分および地理の自然環境論についての知識がある方が理解しやすい.

[その他（オフィスアワー等）]